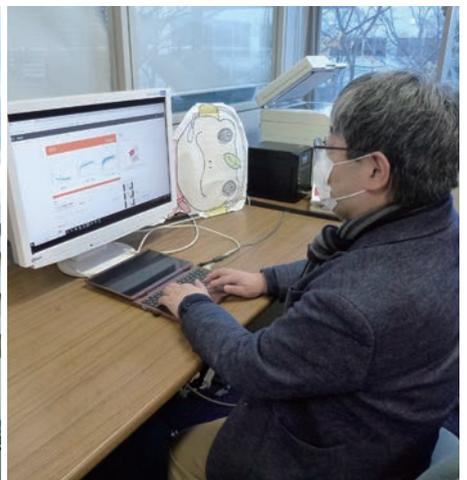
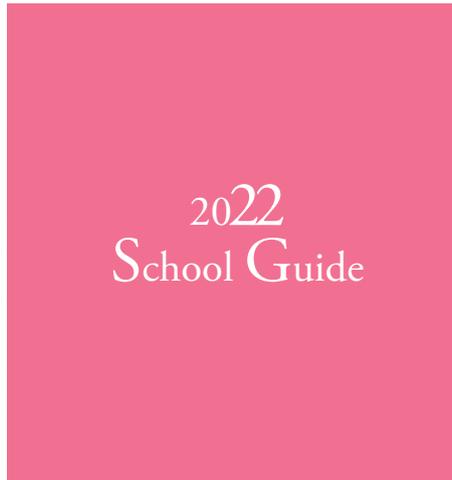




情報学群 知識情報・図書館学類



*College of Knowledge and Library Sciences
School of Informatics*

知識と情報の力

私たちは今、未曾有の時代に生きています。IoTやAIによるパラダイムシフト、地球規模での高齢化や認知症の増加、毎年のように襲う記録的豪雨や大型台風、そして地震。新型コロナウイルス感染症の世界的パンデミックは、私たちの行動様式や価値観まで変えようとしています。

このような時代には、これまでの考え方やルールが必ずしもそのまま踏襲されていくわけではありません。かといって、すべてが変わるというわけでもありません。変えるべきものと変えてはいけないもの、変えられるものと変えられないものを見極め、判断しつつ、前に進むことが必要です。そのためには、断片化された膨大な情報を取捨選択しながら知識として体系化し、自ら考え、行動する能力が求められます。

知識情報・図書館学類では、知識と情報の力で、社会を支え、切り拓く人材を育てます。私たちを足がかりに、知識情報のスペシャリストとして未来を担ってみませんか。



知識情報・図書館学類長
呑海 沙織



目次

| | |
|------------|-------|
| 学ぶ | 2~5 |
| 研究室訪問 | 6 |
| 教員紹介 | 7 |
| 入試(2022年度) | 8~9 |
| ビブリオバトル | 10~11 |
| 3年次編入 | 12~13 |
| 進路 | 14~15 |
| 先輩の声 | 16 |
| 学生生活Q&A | 17 |

筑波大学
天王台
エリア

筑波大学
春日
エリア



学ぶ

■ 知識情報・図書館学類とは？

みなさんは何かについて知りたいと思ったとき、どうしていますか？まわりにある情報の多さに困惑していませんか？知識情報・図書館学類では、情報化社会に生きる私たちが知識や情報を有効に活用するためのさまざまな仕組みを扱います。そこには、社会に息づく図書館や文書館もあれば、広大なインターネットの世界、膨大な情報やデータの利用と分析、未来への知識や情報の伝達などが含まれています。

知識や情報を有効に活用するためには、その性質を的確にとらえ、それらを扱うシステムを設計・構築する必要があります。システムを創るためには、制度や文化、運営について考えなければなりません。知識情報・図書館学類では、これらの課題について「知識科学」、「知識情報システム」、「情報資源経営」の三つの主専攻が協力して、知識や情報と社会をつなぐ人材を育成します。

■ カリキュラム

知識情報・図書館学類のカリキュラムは図1のようになっています。1年次には、総合科目、外国語や体育などの基礎科目に加えて、知識情報、知識情報システム、図書館などについての概論や、プログラミング入門、情報数学などの専門基礎科目を通して、基礎的知識や技術

を学びます。2年次には、1年次に得た知識や技術をさらに深めていくため、主要なテーマごとに設定された講義と、技術を修得する知識情報演習などからなる専門基礎科目を履修します。3年次になると三つの主専攻のいずれかに属して、専門科目を履修します。多様な視点を育成するため、所属する主専攻の専門科目だけでなく、他の主専攻の専門科目も履修することが要求されます。4年次には、研究室に所属して卒業研究を行い、卒業論文を執筆します。資格取得をめざす人のために、司書教諭、司書、教員免許、テクニカル・コミュニケーターの科目も開講しています。

■ 専門教育

知識情報・図書館学類の専門教育の内容は、三つの主専攻に集約されています。各主専攻の特徴は、表1のようになっています。知識科学主専攻は「人間」、知識情報システム主専攻は「情報技術」、情報資源経営主専攻は「社会」をキーワードに、幅広い視野を養い、専門領域の内容に即して、人間、技術、社会・文化の結合と相互の役割を理解するための科目を展開しています。

図1 知識情報・図書館学類のカリキュラム体系

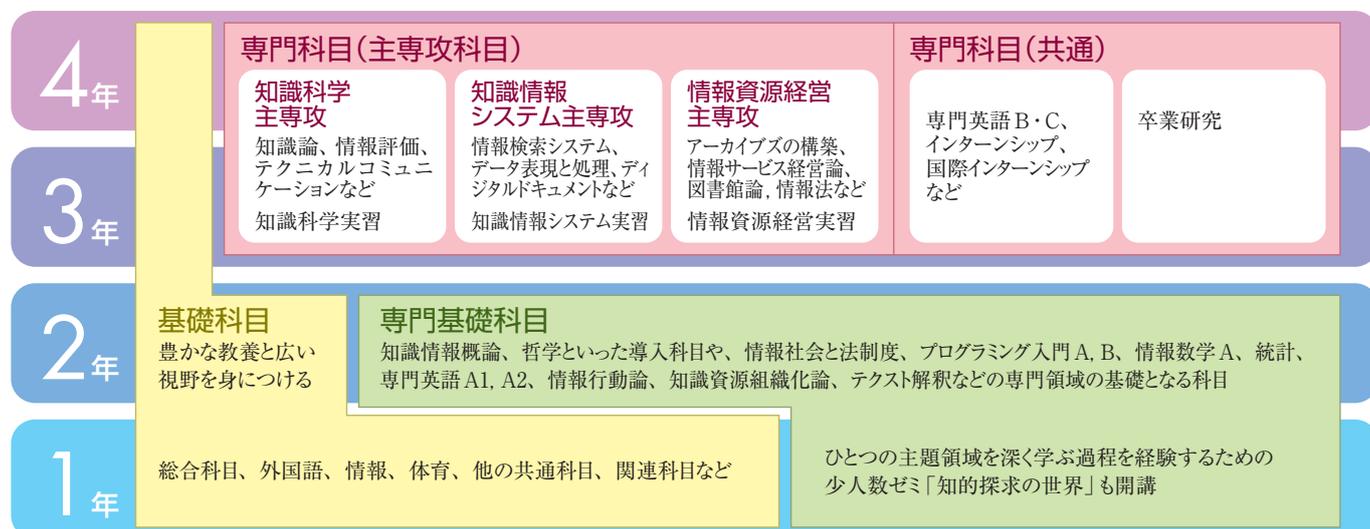


表1 各主専攻の特徴

| | 知識科学主専攻 | 知識情報システム主専攻 | 情報資源経営主専攻 |
|--------|--|--|--|
| ポイントは? | 人間 | 情報技術 | 社会 |
| 何を学ぶか? | 知識の本質、知識と情報行動、知識獲得のあり方と方法、知識の抽出・表現・探索、思考法に関する理論と応用 | 知識と情報の共有、データベース、情報検索、デジタルライブラリなどの知識情報技術に関する理論と応用 | 知識共有に関する社会制度、メディアと図書館の文化、知識情報資源の構築とサービスのマネージメントに関する理論と応用 |

図2 知識情報・図書館学類の科目一覧

| | | 専門科目 | |
|---|---|---|----------------------------|
| <p>学群共通科目</p> <p>情報社会と法制度 体験型システム開発 ビジネスシステムデザイン</p> <p>☆は必修科目</p> | | <p>知識科学主専攻</p> <p>[専門情報] テクニカルコミュニケーション, サイエンスコミュニケーション</p> <p>[知識共有] 知識論, 知識コミュニケーション, メディア社会文化論 知識形成論, Human Information Interaction</p> <p>[知識行動] 学術メディア論, コミュニティ情報論, ソーシャルメディア分析 図書館建築論</p> <p>[知識発見] 知識構造化法, 情報評価, 生命情報学, データマイニング Machine Learning and Information Retrieval</p> | <p>☆主専攻実習</p> <p>☆卒業研究</p> |
| <p>基礎科目</p> <p>☆第1外国語(英語) ☆総合科目 (フレッシュマン・セミナー, 学問への誘い等) ☆情報 (講義, 演習, データサイエンス) ☆体育 第2外国語</p> | <p>知識情報システム主専攻</p> <p>[知識情報システムの実際] デジタルライブラリ, デジタルドキュメント 情報サービスシステム</p> <p>[知識情報システムの実装] マルチメディアシステム, 情報検索システム, Webプログラミング</p> <p>[知識情報システムの設計] データベース技術, データ表現と処理 情報デザインとインタフェース, ヒューマンインタフェース メディアアート, Human-computer Interaction</p> <p>[知識情報の組織化] 知識資源の分類と索引</p> <p>[知識情報システムの原理] テキスト処理, マークアップ言語, ソフトウェア工学 データ構造とアルゴリズム</p> | | |
| <p>専門基礎科目</p> <p>[知識情報演習] ☆知識情報演習 I, II, III</p> <p>[統計とその応用] ☆統計 量的調査法 多変量解析 機械学習</p> <p>[専門英語への導入] ☆専門英語 A1, A2</p> <p>[知識と人間] 情報探索論 質的調査法 ユーザ研究実験法 情報行動論 知識発見基礎論 システム思考</p> <p>[知識とシステム] 知識資源組織化論 コンピュータシステムとネットワーク 自然言語解析基礎</p> <p>[知識と社会] 情報社会と法制度 知的財産概論 生涯学習と図書館 公共経済学 経営・組織論 メディア社会学</p> <p>[メディアの理解] テキスト解釈 映像メディア概論</p> <p>[少人数セミナー] 知的探求の世界 I, II</p> | <p>情報資源経営主専攻</p> <p>[知識情報環境の構築] 図書館論, 学術情報基盤論, 経営情報システム論</p> <p>[知識情報サービスの経営] 情報サービス経営論, パブリックガバナンス</p> <p>[知識情報サービスの構成] 情報サービス構成論, コレクションとアクセス</p> <p>[知識情報の社会化] 教育文化政策, 学校図書館論, メディア教育の実践と評価</p> <p>[知識情報の規範] 情報法, 知的財産権論 A</p> <p>[メディア文化] インターネット動画メディア論</p> <p>[図書館と書物の文化] 図書館文化史論, 日本図書館学, アーカイブズの構築 アーカイブズの利用, PBL型図書館サービスプログラム開発</p> | | |
| <p>学類共通</p> <p>[知識情報学への導入] ☆知識情報概論 ☆アカデミックスキルズ ☆哲学 知識情報システム概説 図書館概論</p> <p>[プログラミング基礎] ☆プログラミング入門 A, B</p> <p>[数学] ☆情報数学 A 線形代数 A 微分積分 A</p> <p>[情報科学] 情報科学概論 知能と情報科学 計算と情報科学 システムと情報科学</p> <p>[情報メディア創成] 情報メディア入門 コンテンツ入門</p> | <p>学類共通</p> <p>[研究と英語] ☆専門英語 B, C</p> <p>[司書教諭科目] 学校図書館メディアの構成, 学習指導と学校図書館 読書と豊かな人間性, 情報メディアの活用</p> <p>[インターンシップ] インターンシップ, 国際インターンシップ</p> | | |

■ 特色ある科目

1年次には、大学生活への適応を支援する「フレッシュマン・セミナー」に引き続き、文章を読む、まとめる、議論する、発表するなどのコミュニケーション基礎力を養う「アカデミックスキルズ」を必修科目としています。また、文理融合型のカリキュラムによって総合的な能力を育てるとともに、2年次と3年次には必修の演習（「知識情報演習」、「知識科学実習」、「知識情報システム実習」、「情報資源経営実習」）を開設し、知識と技術の確実な定着をめざします。さらに、4年間を通して英語力を維持向上させるために英語による授業（専門科目）を開講したり、実社会での専門的な職業体験ができるよう、図書館や企業における「インターンシップ」を開講しています。

■ 国際インターンシップと海外研修助成

筑波大学は知識情報学の国際的研究教育拠点であり、世界的な交流が行われています。その交流関係を活かして、2009年度よりカナダ、アメリカ、ドイツ、中国、韓国、台湾における様々な図書館や情報センターと連携した「国際インターンシップ」を開講しています。受講者は研修先に10日間ほど滞在し、相手国の図書館や情報センターの業務を見学・実習することで、国際感覚やコミュニケーション能力を高め、国際的な視野を養います。これまでの研修先と受講者数は表2を参照してください。また、ピッツバーグ大学や釜山大学など、海外の学生が筑波大学を訪問した際には、講義や見学をとおして、日本の図書館や関連機関について学ぶ機会も提供しています。※COVID-19により2021年度は開講しません。

表2 国際インターンシップ受講者数

| | 2013年度 | 2014年度 | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 |
|-----------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| アメリカ（ハワイ大学、ミシガン大学、ピッツバーグ大学） | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | — |
| 中国（上海図書館） | — | 2 | — | 2 | — | — | — |
| 韓国（釜山大学） | 1 | 1 | 2 | 1 | — | — | — |
| ドイツ（シュトゥットガルトメディア大学） | — | — | — | — | 2 | 2 | 3 |
| 台湾（台湾師範大学） | — | — | — | — | — | — | 2 |

(2020年度は実施せず)

表3 図書館情報学海外研修助成を受けたテーマの例

| |
|---|
| 北欧における図書館の現状（スウェーデンとフィンランド） |
| 中国における情報学の現状と問題意識の調査（中国） |
| イギリス公共図書館アイデアストアにおける子育て支援—社会的包摂の視点から—（イギリス） |
| カンボジアの教育事情—学校・施設の取り組みを通して（カンボジア） |
| 北欧の公共図書館におけるIT利用支援サービス（デンマーク） |
| 欧州諸国と日本の公共図書館の比較（イギリス、フランス、オランダ、ベルギー、デンマーク） |

さらに、同窓会である図書館情報学橘会の支援を受け、知識情報学に関する国際的な知見を深めるための短期海外研修事業として「図書館情報学海外研修助成」を実施しています。この事業では、自分が作成した海外での研修プランに対して、渡航費や滞在費などが助成されます。

■ 組み込み技術キャンパスOJT

先端ITベンチャー企業から派遣された技術者の指導をキャンパス内で受けながら、実践的な技術が習得できます。受講生がIPAの未踏IT人材発掘・育成事業に採択されるなど大きな成果を挙げています。

■ enPiT

情報学群は情報技術を高度に活用して社会の具体的な課題を解決できる人材育成のために、産学協働で課題解決型学習（PBL）の実践的教育を推進する全国的な拠点に採択されました。2017年度から本格的に授業として開講されました。

■ 図書館情報学3/4+2共同教育プログラム

米国ペンシルベニア州のピッツバーグ大学大学院計算情報研究科（School of Computing and Information）との共同プログラムです。学類を3年で早期卒業し、同研究科図書館情報学プログラム（修士）に進学できます。通常卒業4年でも進学可能です。参加条件はGPA3.25以上、TOEFL iBT80点以上で、対象者は図書館情報学プログラムを受験する際、GREが免除されます。ピツ

ツバゲ大学はQS大学ランキングの図書館情報学分野で全米10位の有名校です(2021年1月時点)。

■春日ラーニングコモンズ (KLC)

ラーニングコモンズとは、大学内に形成された「学習するための共有スペース」です。KLC (Kasuga Learning Commons) は図書館情報学図書館のなかにあり、だれでも利用できます。

KLCにはICT環境として、カラープリンタ、大型ディスプレイ、ホワイトボード、ミーティングテーブルなどが設置されています。KLCには上級生チューターが質問を受け付ける専用カウンターがあり、週に3回15:00~19:00にチューターが講義や履修に関する質問を受け付けています。

1年のときにKLCで上級生からレポートの書き方や、パソコンをネットワークに接続する方法を教わった学生が、今度はチューターとしてみなさんの入学を心待ちにしています。



上級生チューターが質問を受け付けるカウンター



KLC

撮影 池田光雪 (知識情報・図書館学類卒)

■司書資格と司書教諭資格

知識情報・図書館学類では、司書と司書教諭の資格が取得できます。司書や司書教諭は他の大学でも取得できますし、場合によっては通信教育や司書講習でも取得できます。しかし、同じ資格でも、知識情報・図書館学類は以下の点が異なります。

- (1) 資格のための科目ではなく、知識情報学の専門科目として自然に位置づけられています。
- (2) 現在の図書館は情報センターとしても機能しています。司書資格の多くは文系学科で取得しますが、本学類では理工系、たとえば情報システムにも明るい学生を育てています。
- (3) 図書館での現場実習が「インターンシップ」「国際インターンシップ」として組み込まれています。

単なる資格として取得するか、実力の伴った資格にするか、それはみなさん次第です。

■テクニカルコミュニケーター専門課程

テクニカルコミュニケーターとは、仕事としてテクニカルコミュニケーション(機器や各種サービスに関して、利用者が求める情報を、正確かつわかりやすく表現するとともに、効果的に提供すること)に携わる人々のことをいいます。テクニカルコミュニケーターには、情報処理能力だけではなく、ライティングや検索力、企画力、法的知識など、幅広い能力が求められます。

2012年度より、一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会(JTCA:テクニカルコミュニケーションの専門家団体)が、テクニカルコミュニケーター専門課程の認定を開始しました。これは、JTCAが定めた専門分野に関する科目から成る課程を認定するもので、知識情報・図書館学類はこの認定を取得しました。知識情報・図書館学類の定められた科目を履修し、JTCAに申請することにより、テクニカルコミュニケーター専門課程の修了認定が受けられます。

研究室訪問



後藤 嘉宏 教授 (知識科学主専攻)

私のゼミ(研究室)は社会学、メディア論、思想史のゼミという看板を打ち立てています。社会学は非常に間口の広い学問です。人が複数いれば、もうそれは社会ですので。よって多岐にわたるテーマが想定できます。対象はほぼ何でもOKです。人々の行為の意味を理解するという方法論だけは採用して貰いますが、これについては2年次の授業「メディア社会学」で詳しく説明します。

他の人のやったことのないことを、自分なりの切り口で解決できるテーマのある学生を受け入れてきています。特に「こんなこと研究になるの」と他人からいわれるようなものでも、そこに拘りがあってどうしても研究したいという学生と共に学んでいきたいと思えます。

過去のテーマのタイトルを見ると「コスプレにおける立場の違いをもたらす要素」「[an-an] 読者による恋愛マニュアル記事の読み方をめぐる研究」「白雪姫」の児童書におけるストーリー展開の比較—ディズニーアニメ等の影響に着目して—「BL書籍を読みつづける理由—読者の自己意識と物語における読者の視点—」「ラーメン二郎の流行と定着についての考察」等、サブカルものが多いですが、王道の研究をする人もいます。際物、サブカルものであっても、傍流から主流に光を当てるといふか、マイナーな対象の研究から本質論に迫ることを私は求めます。したがってどちらも目指すところは、ほぼ同じです。

自分なりの気づきを大切に育みたい学生さんの、「こんな研究やってみたい」を応援するゼミです。

じつは私自身の研究は中井正一という国立国会図書館初代副館長で、日本最初のカラー映画を作った美術学者を、思想的に地道に研究しています。でも中井は多様な学問、そして多様な人々の編みだす文化を楽しみ、そのような多元性によって民主主義の基盤を構築しようとした人です。中井は学問分野横断的な同人誌や、労働者・学生といった読者の投稿で紙面を構成する新聞の発行を通して、他の人の発想を発酵させ引き伸ばさせることに長けた人でした。したがって私が中井の精神を引き継いでいるのなら、そういう彼の姿勢に少しでも教育研究の場で近づかなければという思いで、ゼミを運営しております。自発的な学びを楽しめる学生さんとの議論を心待ちにしております。



高久 雅生 准教授 (知識情報システム主専攻)

ウェブ上には日常的なものから学術的な内容まで、さまざまなコンテンツやサービスがあふれています。しかしながら、それらのコンテンツ群を適切に組織化して容易にアクセスできるようにするという情報専門家の営みは古くから変わっていません。そのためには、コンテンツをどのようなキーワードでアクセスできるようにするか、対象とするコンテンツに適した表現力の高いデータモデルはどのようなものかという課題と向き合わなければなりません。こういった組織化の課題に応える一方で、利用者の情報ニーズを的確にとらえることも重要です。利用者は、単一のコンテンツに辿りつくことを求めているのか、複数のコンテンツを横断して比較検討を加えたいのかなど、さまざまなニーズや文脈をもっています。

高久研究室では、これらの問題意識のもと、1) 情報組織化のためのLinked Open Data (LOD) 技術の活用、2) 文書群を適切に索引付けして利用者の情報ニーズを満たす文書を取り出す情報検索技術、3) 利用者のニーズや探索プロセスの理解を助ける情報探索行動といった領域で研究しています。

近年の卒業研究のテーマには「主題情報に基づく情報探索支援手法」「新書本による学問発見支援システム」「関心が広がるキーワード自動生成システム」「ディスカバリサービスにおけるクエリとの関連度を考慮した情報源提示システム」などがあります。

一年をかけて一つのテーマに取り組み、その結果を自分の言葉で説明するという卒業研究のプロセスは学生生活の集大成であり、何よりも自身を成長させる資産と信じます。研究室はこの学習を支える基盤として、毎週の教員との個別面談やゼミ全体でのミーティングといった機会を使って学びを支え、とくに、ぜひ皆さんと一緒に学びたいと思っています。



鈴木 佳苗 教授 (情報資源経営主専攻)

私たちは生活や学習の多くの場面でメディアから多くのメッセージや情報を得たり、自ら必要な情報を探したり、メッセージや情報を発信したりしています。各種メディア(本、インターネット、テレビなど)には、速報性、広域性、保存性、一覧性などの特性があります。変化が激しく常に新しい未知の課題に対応することが求められる知識基盤社会では、このようなメディアの特性を理解し、慎重にメッセージや情報を読み解き、組み合わせるなどして新たな知識を創り出していくことが求められています。

私たちとメディアとの関わりには、メディアがどのような内容のメッセージや情報を伝えているのか、メディアの利用者はどのような影響を受けるのか、ポジティブな影響を促進しネガティブな影響を低減するにはどのような学習・教育プログラムが推奨されるのか、私たちが有用な情報を収集したり、発信したりするためにはどのような学習・教育や地域などによる支援が推奨されるのかなどの重要な研究課題があります。

鈴木(佳)研究室では、このような研究課題に対して、公共図書館、学校図書館、幼稚園・保育園、学校などを対象として、メディア分析、調査や実験などを通して研究を進めています。ゼミではこのような研究の方法について学び、多くの文献を読み、ゼミでの議論を通して研究テーマを絞り込んでいきます。

最近の卒業研究のテーマの例として、「健康食品におけるCM広告の特徴」、「小学生の読書体験が学習意欲に及ぼす影響」、「幼児を対象とした読書と体験に関する活動の現状と循環プログラムの開発」、「インフォメーション・リテラシーの育成における学校図書館の活用」などがあります。これらは学術的な意義だけでなく、社会的な意義もある研究テーマです。卒業研究の抄録は知識情報・図書館学類のウェブページ(「学ぶ」)に掲載されていますので、ぜひ参照してみてください。



教員紹介

知識情報・図書館学類の教員と各々の専門を表すワードです

知識科学主専攻

于海 涛

- 機械学習
- 情報検索
- 知識グラフ・情報知能

後藤 嘉宏

- メディア社会学
- 社会思想史
- マス・コミュニケーション論

上保 秀夫

- 人間中心の情報検索と推薦
- ライフログ
- ユーザ研究

照山 絢子

- 文化人類学
- 医療人類学
- コミュニケーション学

中山 伸一

- 情報化学
- 感情予測
- 情報知識化

眞栄城 哲也

- 生命現象の解明
- さまざまなモノの関係性
- 専門知識の利用

叶 少瑜

- 個人特性と社会的ネットワーク
- 対人コミュニケーションにおけるメディア使用の影響

芳鐘 冬樹

- 研究者の生産性
- 研究協力ネットワーク
- 計量書誌学

大澤 文人

- 教育におけるマルチメディアの活用
- 教育におけるコンピュータの活用

三波 千穂美

- テクニカルコミュニケーション
- サイエンスコミュニケーション
- コミュニケーション育成

辻 慶太

- シソーラスの自動構築
- レファレンスサービス
- 図書推薦システム

歳森 敦

- 選択行動モデル
- 選好意識の解明
- 地域施設計画

長谷川 秀彦

- データサイエンス
- ハイパフォーマンスコンピューティング
- 数値線形代数

松林 麻実子

- 情報行動
- メディア分析
- コミュニケーション

横山 幹子

- 知識の確実性
- 知識の共有
- 言語と思考

知識情報システム主専攻

伊藤 寛祥

- 機械学習
- ソーシャルネットワーク分析
- ヒューマンコンピューテーション

加藤 誠

- データ検索
- Web データマイニング
- 検索行動分析

阪口 哲男

- Linked Data に関わる開発支援
- クラウドソーシング基盤技術と応用
- 情報共有・伝達の技術基盤開発

鈴木 伸崇

- データベース
- データ工学
- アルゴリズム

高久 雅生

- 情報行動
- 電子図書館
- 情報検索

時井 真紀

- 情報表現
- 計算物理
- 計算機シミュレーション

落合 陽一

情報メディア創成学類からの協力教員

森継 修一

情報メディア創成学類からの協力教員

宇陀 則彦

- 電子図書館
- 情報資源共有
- 知識現象の解明

SARCAR, SAYAN

- ヒューマンコンピュータインタラクション (HCI)
- 高齢化とアクセシビリティ
- 知的支援システム

佐藤 哲司

- 情報アクセス
- 知識画像とコミュニティ分析
- コンテンツ工学

関 洋平

- 情報アクセス
- 自然言語処理
- コミュニケーション支援

手塚 太郎

- 機械学習
- 時系列データ解析

松村 敦

- Web 情報システム
- 情報探索・検索
- 読み聞かせと絵本推薦

森嶋 厚行

情報メディア創成学類からの協力教員

若林 啓

情報メディア創成学類からの協力教員

情報資源経営主専攻

池内 淳

- 公共図書館政策
- 図書館評価

白井 哲哉

- アーカイブズ学
- 図書館地域資料
- 日本地方史

呑海 沙織

- 超高齢社会における図書館と認知症支援
- 知識情報基盤
- 図書館文化史

村井 麻衣子

- 知的財産法
- 著作権法
- 著作権の制限規定

逸村 裕

- 学術情報流通
- 情報利用行動
- 大学図書館

鈴木 佳苗

- 読書・学習環境 (学校図書館など) の整備と活用
- メディア利用の影響
- メディア教育

原 淳之

- ヨーロッパの図書館
- 図書館文化史
- 図書館の国際比較

村田 光司

- アーカイブズ学
- 記憶情報の伝達と管理
- 西洋前近代史

大庭 一郎

- 情報サービス (レファレンスサービス)
- 公共図書館
- 図書館職員

高良 幸哉

- 情報法
- 情報保護法制
- 情報刑法

BARYSHEV, EDUARD

- アーカイブズ学
- 国際関係史
- 比較社会学

吉田 右子

- 公共図書館論
- 公共図書館サービス
- 公共図書館史

小泉 公乃

- 図書館の経営戦略と組織
- パブリックガバナンスと公共図書館
- 図書館のコレクション評価

辻 泰明

- 映像メディア
- 映像アーカイブ
- 映像コンテンツのインターネット配信

溝上 智恵子

- 大学教育
- 教育政策
- 生涯学習論

綿坂 豊昭

- 日本の図書文化
- 江戸の書籍文化
- 和歌・連歌・俳諧

入試(2022年度)

大学説明会：実際の大学を知るにはこれが一番。大学のことを知れば勉強意欲もわいてくる
(8月の大学説明会の日程については学類 Web ページをご覧ください)。

| | |
|---|---|
| 一般入試 大学入学共通テストと個別学力検査に基づく選抜 募集人員 後期日程 10名 | 広い視野と独創性を重視 大学入学共通テストと小論文。小論文で自分の考え方をしっかりまとめるのがポイント。 |
| 推薦入試 高等学校長の推薦に基づく選抜 募集人員 40名 | 論理的思考力とコミュニケーション能力 小論文では、論理的に考え、それをきちんと表現できるかが重要。面接(ビブリオバトル)では、本を推薦する説得力、他の人の発表に対する質問力、的確な回答力がポイント。 |
| AC入試 自己推薦に基づく選抜 募集人員 5名 | 自分自身の課題でトライ 自分で見つけた課題に自ら取り組み、その成果を自己推薦書として提示。未知の課題を発見し、解決する能力をどれだけアピールできるかがポイント。 |
| 国際バカロレア特別入試 提出書類と面接・口述試験による選抜 募集人員 若干名 | 主体的に学ぶ意欲 主体的に学ぶ意欲のアピールと論理的思考やコミュニケーション能力がポイント。 |
| 私費外国人留学生入試 日本留学試験とTOEFL、小論文、面接による選抜 募集人員 若干名 | 知識と情報について学ぶ意欲と日本語能力 小論文は日本語で論理的に表現できるかがポイント。面接には知識と情報について学びたいという意欲をもって臨むことが大切。 |

日付は2021年4月から2022年3月の間

| 試験 | 募集人員 | 出願期間 | 試験日 | 合格発表 | 入試科目 | 配点 |
|----------------|------|------|-----|------|--|--|
| AC入試 | 5名 | 9月 | 10月 | 11月 | 第一次…書類選考、第二次…面接(募集要項は6月公表予定) | - |
| 国際バカロレア特別入試 | 若干名 | 11月 | 11月 | 12月 | 第一次…書類選考、第二次…面接(募集要項は6月公表予定) | - |
| 推薦入試 | 40名 | 11月 | 11月 | 12月 | 小論文と面接(募集要項は9月公表予定) | - |
| 大学入学共通テスト | - | - | 1月 | - | 国語 国語 数学 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 外国語 英(リスニング含む)、独、仏、中、韓から1 ① 地歴 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から2 公民 現社、倫、政経、倫・政経 } 理科 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 または物理、化学、生物、地学から1 [5・6教科7~8科目] ② 地歴 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 公民 現社、倫、政経、倫・政経 } 理科 物理、化学、生物、地学から2 [5教科7科目] | 200 200 200 200 100 100 200 合計 900 |
| 個別学力検査 後期日程 | 10名 | 1月頃 | 3月 | 3月 | 小論文(募集要項は10月公表予定) | 200 合計 200 |
| 私費外国人 留学生入試 | 若干名 | 1月頃 | 2月 | 3月 | 日本留学試験(文科系または理科系)、TOEFL、小論文、面接(募集要項は9月公表予定) | - |
| 3年次編入学 | 10名 | 6月 | 7月 | 7月 | 面接・口述試験(募集要項は4月公表予定) | - |

詳細は必ず「入学者選抜要項」及び「学生募集要項」を参照してください。大学入学共通テストにおいては、①または②を選択してください。

問い合わせ先 筑波大学 教育推進部 入試課 電話 029-853-6007



筑波大学の入学者選抜制度は前期日程での総合選抜の導入に伴って、2021年度入試から大きく変わりました。ここでは、「知識情報・図書館学類で学ぶ」という視点で変更点・注意すべきことを説明します。

総合選抜による入学者は、入学時には学類が決まっておらず、2年生になる時点で本人の希望と単位取得した科目、成績などで学類が決定します。知識情報・図書館学類は、前期日程（定員40名）を廃止し、総合選抜入学者を2年次から45名受け入れることにしました。

■ 知識情報・図書館学類への志望が明確な人

最初から知識情報・図書館学類で学ぶ意志がはっきりしている人には、アドミッションセンター入試（定員5名）、推薦入試（定員40名）、後期日程（定員10名）の受験をお勧めします。特に、推薦入試は明確に志望が定まっている受験者の主な受け入れ口と位置づけて、学習成績の基準を引き下げたり、1校で推薦できる数の制限を撤廃したり、既卒者の出願を認めたりなど、門戸を大きく広げました。平均評定値が4.0に達しない人でも「筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者」という条件に合致すると高校が認めた場合は出願資格があります。知識情報・図書館学類で学びたい方は、まずは推薦入試の受験を検討してください（p.10参照）。

入学者選抜制度が変わっても、学類のカリキュラム自体は変わらないので、総合選抜以外の入試で知識情報・図書館学類に入学した人は、このパンフレットで説明されているカリキュラムで学ぶことになります。

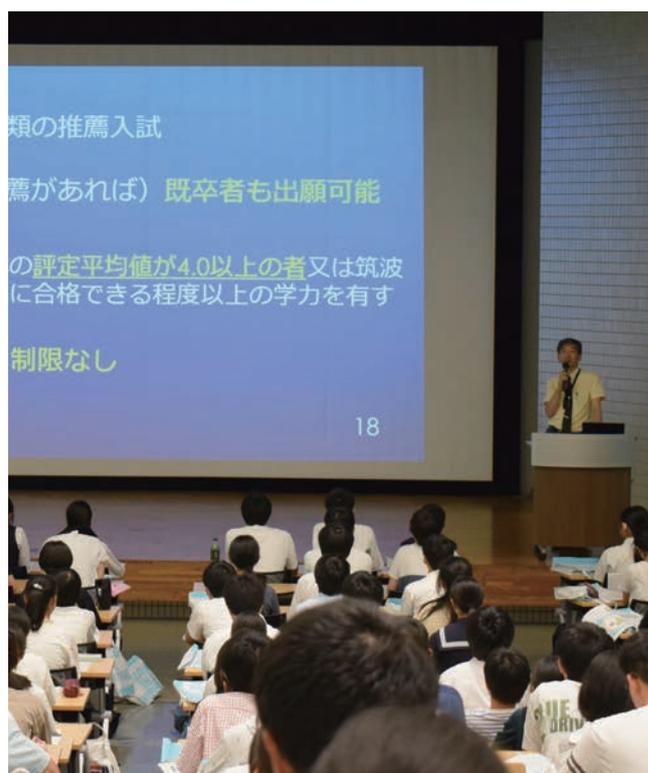
■ 志望する学類を迷っている人

知識情報・図書館学類に興味はあるが他の分野にも魅力を感じる等、志望先に迷いがある人や、大学で実際に授業を受けながら自分の志望先を選びたい人は前期日程の総合選抜を受験すると良いでしょう。総合選抜は科

目の組み合わせや配点の違いなどで4種類の選抜区分がありますが、知識情報・図書館学類は文系の入学者から10名、理系Ⅲの入学者から30名を優先して受け入れます。また、文系と理系Ⅲを含む全ての区分から5名を受け入れます。複数の分野を学ぶことに積極的な学生を受け入れるため、知識情報・図書館学類は、全学でも最大の45名を受入定員としています。

総合選抜からの移行（所属学類を決めることを「移行」と呼びます）にあたっては、指定した科目の単位取得を条件とする学類もありますが、知識情報・図書館学類ではそのような条件は設定しません。知識情報概論、プログラミング入門、情報数学Aは知識情報・図書館学類生が1年生で履修する必修科目ですが、これらを履修せず他の科目を選択した人でも、知識情報・図書館学類への移行を希望できます（1年生でこれらの科目を履修しなかった人は2年生で履修することになります）。その点では、知識情報・図書館学類はどの学類・専門学群とでも志望を両立できるようになっています。また、1年生で履修する科目の大部分を情報学群で共通化したので、情報科学類、情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類の間では特に移行先を選択しやすくなっています。

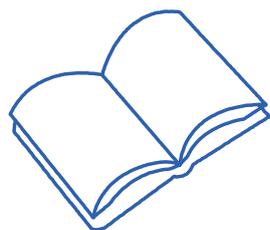
総合選抜から知識情報・図書館学類に移行しても、他の入試区分で入学した学類生とカリキュラムは同じです。1年生で履修しなかった科目があれば、2年生以降で補いながら、4年間で学類の卒業要件を満たすように学ぶことになります。





がまじゃんぱー

推薦入試の面接は



ビブリアオ

「ビブリアバトル」方式の面接を導入しました。本を推薦する説得力に加えて、質問力、質問に対する回答力などの能力を多面的に評価することを目指しています。

1. 出願資格

既卒者も出願可能です。 出身学校長の推薦が必要です。

2. 推薦要件

(1) 調査書の**学習成績全体の評定平均値が4.0以上の者**、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者

(2) 知識や情報に対して明確な問題意識を持ち、それらに関する自主研究や部活動、社会活動において優れた実績を有する者（実績を証明する客観的資料があれば添付のこと）

(3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者

3. 選抜方法

小論文及び面接を実施することは変わりません。ただし、面接方法を**ビブリアバトル**とします。

面接では、自分が選んだ本の魅力を伝えてもらい、それをもとにメンバ全員でディスカッションします。これは、日本で生まれたコミュニケーションゲームでビブリアバトルと呼ばれています。バトルと言っても論戦ではありません。面接員は自分の意見をうまく伝えられるか、協動的な質問ができるか、質問の意図を汲み取って的確に回答できるかなどを評価します。



……。何もわからないけろ。

推薦入試の面接はビブリアバトルです。順番に説明していくね!!



ビブリアバトルって何けろ？

5分で本を紹介して、読みたくなった本（チャンプ本）を決めるコミュニケーションゲームよ。



これ入試にするとマジけろ!?

マジ。



チャンプ本に選ばれれば受かるけろ？

チャンプ本と面接の評価は無関係です。



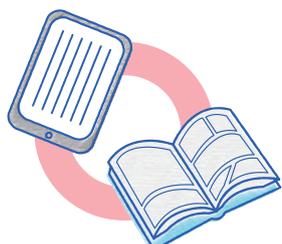
これ入試として成り立つのかけろ？

成り立つよ。志望動機や高校での活動といったありきたりな話題ではなく、その人がこれだと思った本を紹介してもらうことで、表現力、説得力、質問力を見るの。

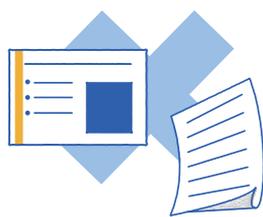


本はなんでもいいけろ？

本は自分が紹介したいものを1冊選んで下さい。漫画も電子書籍もおっけー!! 面白い例だと時刻表とかあったらいいよ。ただ、本の実物や電子書籍の画面を見せるのはOKだけど、補助資料（スライド・レジュメ等）は使用禁止です。ライブ感が大事なの。



紙の本はもちろん
漫画・電子書籍もOK!



補助資料
スライド・レジュメ等はいりません

バトルです。



ちゅーりっぷさん

面接の流れ

一・入室（4～6人）

たのもー

元氣よく入ろう

二・1人5分、本の紹介

5:00
時間厳守

この本は強い

三・1人2～3分
紹介した本の質疑応答

この本は強い

わい

わい

四・投票でチャンプ本を決定

読みたいと思った本を選ぼう

この本は強い

五・面接員はその様子を観察

「人を通して本を知る。本を通して人を知る」

ビブリオバトル入試
レッツチャレンジ！

3年次編入

1. 編入について

知識情報・図書館学類では、次の2種類の編入生を受け入れたいと考えています。

- ①類似した領域から来て、そこで習得した知識・技術を深める
- ②異なる領域から来て、そこで習得した知識・技術をもとに新しい道をめざす

①のタイプは、たとえば短期大学で司書資格科目を履修したり、高等専門学校で情報工学を専攻したりするうちに、より専門的に学びたいと考えようになった人たちです。②のタイプは、たとえば法律学や化学を学んで、その知識を知識情報学(図書館情報学)のなかで活かして法律図書館や化学情報といった今までとは異なる領域について学びたいと考えようになった人たち、あるいは情報工学を技術的側面から学んできたのちに社会的側面からも学びたいと考えようになった人たちなどです。

2. 入学試験

入学試験では、学習計画書を提出していただき、その内容について30分程度の面接・口述試験を行います。

学習計画書には、自分は①のタイプなのか、あるいは②のタイプなのかをよく考えて、2年間の大学生活でどのようなことを学びたいのかをまとめてください。学習計画書を補足するための資料を添付してもかまいません。

面接・口述試験では、10分程度でこれまでの学習内容、志望の動機、これからの学習計画などについて説明していただきます。試験時に説明用資料を配布することもできます。

編入学試験では、その時点での学習計画をきちんと説明できることが重要で、入学後にその学習計画を変更してもかまいません。

3. 入学

合格発表後、8月末の平日午後に合格者向けのガイダンスを実施します。カリキュラムや単位認定についての概要を説明したうえで、クラス担任予定者や教育課程担当の教員が、合格者ごとに単位認定の見通しの試算や主専攻選択について個別面談を行います。例年、ガイダンスでの単位認定見直しを受けて、在籍校での履修計画を見直す人が多く、結果的に編入学時の認定や入学後の履修がスムーズに進むようです。

卒業に必要な単位数の約半分を、編入学時までの学修内容に応じて単位認定します。これまでの実績では55単位~69単位、平均すると約63単位が認定されています。卒業に必要な単位数は124単位ですから、編入学後61単位前後の履修が必要になります。1年次入学の標準的な履修プランでは1・2年次で約80単位、3・4年次では約45単位となっています。

知識情報・図書館学類生としてかならず学んでほしい科目は単位認定の対象外なので、1・2年次に混ざって受講する必要があります。この場合、同じ時間帯に開講される3・4年次向けの専門科目は4年次に受講することになります。

編入学者は3年次生として、三つある主専攻のひとつに所属し、1年次からの学生に混ざって主専攻実習や専門科目を学びます。卒業研究の研究室配属は3年次秋に行います。

背景が異なるさまざまな編入生を受け入れるため、クラス担任を中心に、学習計画の指導に力を入れることになっています。計画的に履修すれば司書資格の取得は可能ですが、教員免許状を2年間で取得するのは不可能です。

4. 説明会

2021年4月17日(土) 13:30からオンラインで編入説明会を行います。

先輩の声

私は以前所属していた大学で情報学を学ぶなかで、「図書館を通じた情報の活用方法を学びたい」という思いが強くなり、編入を決意しました。編入をするまで、私のなかでの図書館は「資料提供を行う場所」としての認識が大きかったのですが、図書館情報学の学びを進めるなかでコミュニティの拠点や新たな文化の発信地など、図書館の持つ多様な可能性に気づくことができました。ひとつの存在に対して多角的な見方をする事は、今後の人生にも大きな影響を与えてくれると信じています。

2020年度は新型コロナウイルスの影響により、年度を通してほとんどの授業がオンライン上で行われました。通常の下ならば誰かと隣で相談しながら取り組める課題をたった1人で取り組まなければならない状況になり、大きな不安を感じる時もありました。そんなとき、同期の編入生と連絡を取り合い、互いに励まし合いながら学習を行いました。困難な状況下でも支え合える仲間に出会えたこと、これは私が編入をしてよかったと心から思える理由のひとつです。

私は図書館情報学と似た分野の専攻から編入しましたが、私の同期は語学や農学など情報学とは異なる分野を専攻していた人がほとんどです。また、これまでの経歴も他の4年制大学、短大、高専、専門学校とそれぞれ多種多様なバックグラウンドを持っています。総合大学である筑波大学は各々がこれまで経験してきた見地を活かして学びを深められる場所です。皆さんが皆さんらしく学びを深めて行かれることを心から願っています。



毛利 美紀
MOURI Minori
(大学出身)

情報資源経営主専攻



沼口 天
NUMAGUCHI Ten
(専門学校出身)

知識情報システム主専攻

私は専門学校から、知識情報・図書館学類への編入学を行いました。以前の専門学校では英語を中心に学んでいたため、情報学に関してはほとんど触れたことがなく、情報学群で自分は本当にやっていけるのかと不安に思っていました。しかし、編入後は先輩方から授業に関しての丁寧なアドバイスを頂いたり、同じ編入生の友人たちと相談しあったりすることで、編入前の不安は解消されていきました。

また、今年度は新型コロナウイルスの影響で、春学期はオンライン授業が中心となり、ほとんど学校に行くことができませんでした。例年にはないイレギュラーな事態に、学校全体が手探りで授業を行っている様子でしたが、私自身としては、授業の質が落ちているという印象はなく、先生方が提供して下さる授業動画も、分かりやすく丁寧に作られていたので、非常に満足しています。もしかすると、来年も新型コロナウイルスの影響が続いて、一部がオンライン授業という形をとるかもしれませんが、授業の質に関して心配する必要はないと思います。

筑波大学は、編入生をととても歓迎してくれます。去年編入を経験された先輩方が気にかけてくれたり、編入生同士で話す機会を設けてくれたりと、途中から入ってきても孤立しないで楽しい学校生活を送れるような配慮がしっかりとされています。また、編入生の中には、私を含め、様々な分野から編入してきている人たちが多くいるため、他分野からの編入を怖がる必要もありません。ですから、筑波大学への入学を目指している方は、ぜひ安心して受験してください。

3年次編入のためのQ&A



Q. 編入学した人の出身は?

A. 年度によって異なりますが、大学と高等専門学校が多いようです。2021年度の場合、高専6名、短大2名、大学4名、専門学校2名です。

Q. 学生宿舎には入れますか?

A. ほとんどの人は最寄りの春日宿舎に入れますが、時として追越宿舎(徒歩約15分)が割り当てられることもあります。

Q. サークルは入れますか?

A. 多くの人がサークルに入っています。

Q. 知り合いは多くできますか?

A. 入学直後の2日間連続のオリエンテーションなど、編入生同士が出会う機会が多く、毎年仲良くやっているようです。また、1・2年次生と同じ科目を履修するため、学年を越えた知り合いも沢山できます。

Q. 他学類・他学群の授業は取れますか?

A. 可能です。ただし、短期間に多くの科目を取らなければならない編入生にとっては、現実にはかなり厳しいと思われるます。

Q. 文系学生はプログラミングや数学が大変?

A. 大変です。ただし、理系か文系かで決まるのではなく、個人のやる気に依存します。数学もプログラミングも専門家を育てるためではなく、どのような分野でも必要な数学的な考え方、論理的思考力を養うための科目となっています。

進路

■「自分にマッチ」したフィールドを!

知識情報・図書館学類の魅力は、文理融合型カリキュラムによって、知識と情報、人間、社会に関する基礎的な知識と技術を広く学びながら、自分が深めたいと思う専門領域を見つけられるところにあります。基礎教育を重視したカリキュラムは、将来、多様な分野で活躍できる下地をつくります。三つの主専攻ではそれぞれ専門的な知識と技術を修得することができます。大学4年間を通じて、知識情報にかかわる広大な世界に触れることは、みなさんの可能性を広げることになるでしょう。知識情報・図書館学類では、隠された自分の可能性を発見し、「自分にマッチ」したフィールドにたどり着くことができます。

■進学

本学はもとより、他大学を含めて15~25%ほどの卒業生が大学院に進学しています。知識情報・図書館学類の教員が所属している大学院として、2年間の博士前期課程(修士課程)と3年間の博士後期課程(博士課程)からなる人間総合科学研究群(情報学学位プログラム)があります。人間総合科学研究群には推薦入学の制度があるので、学類での成績が優秀なら早い時期から自分の進路を定めることもできます。いろいろな専門分野を学んできた多数の大学院生とともに切磋琢磨し、より高度な知識と技術の修得、先端的な

研究を行います。こうして身につけた能力を活かして、博士前期課程修了後にはより高度な専門性を必要とする職業に就くことができます。さらに博士後期課程へ進み、大学教員や研究者をめざす道もあります。情報学学位プログラムでは夜間や土曜日に学習・研究ができるように、東京キャンパス文京校舎に東京サテライトを設けていますので、社会人として仕事をしながら大学院で研究を続けることもできます。

■資格取得

将来へのきっかけとして、大学在学中に資格取得を考えてみるのもよいでしょう。資格取得はスキルアップにもなりますし、自分への自信にもつながります。将来、どのような職に就いても、「知識」と「経験」はかならず力になります。

知識情報・図書館学類では司書資格、司書教諭資格、教員免許状が取得できます。司書教諭資格は、司書教諭科目を履修し教員免許状を取得することで取得できます。教員免許状は、中学校教諭一種免許状(社会・数学)と高等学校教諭一種免許状(公民・数学・情報)が取得できます。また、定められた科目を履習して、JTCAに申請することにより、テクニカルコミュニケーター専門課程修了認定を受けることもできます。

また、自分の可能性を広げるため、基本情報技術者試験、経営学検定試験(初級)などの受験を勧めています。

春日エリアのキャリア相談室より

キャリアアドバイザー 神村 孝子

キャリア相談室では「就職」「進学」に関する質問や相談はもちろん、「学生生活を有意義に過ごすためには」「学んだことを将来どのように活かしたいか」など、幅広い内容の相談が日々行われています。来談された方が対話をとおして自分を知り、社会を知り、将来のことを考え、主体的な学生生活を送るきっかけになる場所を目指しています。個人相談のほかには、学生間で情報交換ができる「オープン相談」、学類で学んできた知識や経験を語り合いながら自分の強みを発見するワークショップ、「大学職員さんに話を聞こう」と称して、図書館職員や事務職員として活躍する方を招いて懇談し、実際の仕事を具体的にイメージするための試みも行っています。おかげさまで、1年生から4年生まで、各学年の進路の悩みや考えを語り合える場所になってきました。

就職課とも定期的に連携しており、就職課主催のイベント等の情報提供もしています。主なイベントは約700社の企業人事担当者と卒業生の社員が来学し身近に質疑応答ができる「学内企業説明会」や面接対策などのための「就活フォローアップ講座」など実践に役立つものが数多くあります。イベントを通じて他学類の人や様々な社会人と接することは、進路への意識を高めるよいきっかけになると思います。筑波大学には、4年間の中で自分の可能性を広げていけるたくさんの機会と環境があります。これらを存分に活かすことで、変化の激しい時代に活躍できる基盤となる力を築いていただきたいと思います。今を考えることは未来を考えることにもつながります。学生生活の中でちょっと立ち止まって自分のことを考えたくなった時に、ほっとひと息つける場所になれるよう、ドアを開けてお待ちしております。

■就職

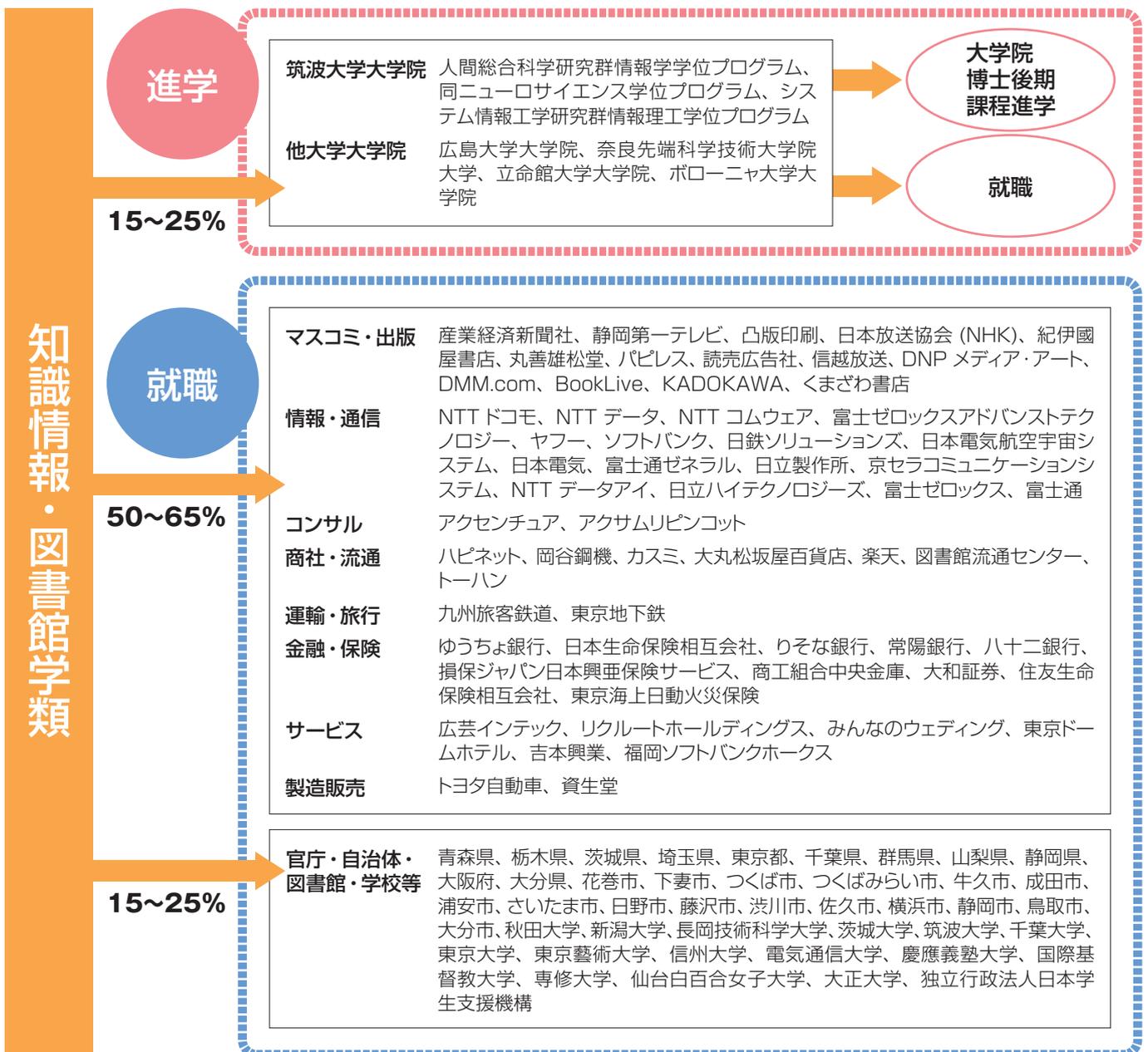
知識情報・図書館学類の卒業生は、さまざまな分野で活躍しています。下図のように、就職先は、大きく「公務員・図書館・学校等」と「企業」に分けることができます。「公務員・図書館・学校等」では出身都道府県に就職する学生も少なくありません。また、企業への就職では、出版社、書店・取次、IT関連企業、インターネット関連企業、通信関連企業、銀行、サービス業などがあります。テクニカルコミュニケーター専門課程修了認定を受け、テクニカルライター職で活躍する学生も増えてきています。

今後ますます、知識の本質を理解したエンジニアや企画経営能力を有する開発者など、多様な視点をもった人材が必要とされ、実際にそうした人材を輩出しています。

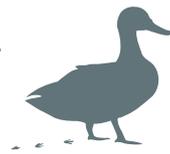
■就職支援

知識情報・図書館学類では、きめ細やかな就職支援を行っています。学生の個別相談に対応するため、独自にキャリアアドバイザー（週1日）を配置し、気軽に相談できるようにしています。企業系志望の学生のためには、進路説明会や学生間で情報を共有するための「進路情報カフェ」などを実施しています。公務員・図書館志望の学生のためには、公務員採用試験に向けて独自の教養試験対策を行っています。また、全学レベルでのキャリア支援活動も受けることができます。

卒業生の主な進路



先輩の声



[所属・学年は2020年度現在]



相島 拓実 AIJIMA Takumi

知識情報・図書館学類2年

情報社会が進むにつれ、大学で情報系の勉強をする人が増えているのだと、近頃耳にします。単純な諸分野への興味か、はたまた実利へ向かう野心を隠しているのか。どちらにせよ、それらを満たせるような材料が、大学で待っています。ようこそ、知識情報・図書館学類へ。

図書館という単語が出てきて「おやっ?」と思う方は多いと思います。私も少し前まで、情報系と言えばパソコンばかり連想していました。ところで、私たちも日常的に扱う「情報」ですが、政治の話や法律の話、天気の話のように、ある程度カテゴライズすることが出来ると思います。このような、日常的に散らばっている情報が理解しやすいのは、それらが時間をかけ、たくさんの人によって整理され、人間の役に立つような知識となってきたからです。その作業を助け、諸分野を分け、知識を集約してきた場が図書館であり、コンピュータを用いて、情報・知識を増やそうとする場がよく知られる情報系の分野と言えます。情報と図

書館が並んでいるわけが、なんとなく伝わるといいのですが…。

敷地の面でも、学問分野の面でも、広いと知られている筑波大学ですが、その中ではこの学類は落ち着いていると言えるでしょうか。普段授業が行われるエリアの人口密度は高くはありません。しかし、よく見かける顔が集まって話が始まるのも面白いですし、サークルで非日常的な時間を過ごす刺激が得られます。本当に、学生によって日常は様々なのでまとめることが難しいのですが、少しでもこの学類に興味を持ってもらえると私もうれしいです。

小島 あずさ KOJIMA Azusa

知識情報・図書館学類3年

「知識情報・図書館学類って何を学ぶところなの?」と疑問に感じる方が多いことと思います。他学類生に聞かれることもある質問ですが適当にお茶を濁すことが多いです。未だに正確な答えは見つけれられていません。よってその問いに答えるのはほかの方にお任せしたいと思います。

1・2年次には哲学から数学まで文理を問わず様々なことを学びます。特に苦勞した記憶があるのは1・2年次のプログラミング実習と数学です。プログラミングは未知でしたし、数学も初歩からつまづくような有様でした。しかし、知識情報・図書館学類は文理融合の学類です。文系の私に分からないところに詳しい理系の同級生がいます。彼らに助けを求めて何とか単位を取ることができました。助けを求めたことによって話すようになった友人もいます。

3年次には知識科学主専攻、知識情報システム主専攻、情報資源経営主専攻のなかから情報資源経営主専攻を選択しました。筑波大学はもともと他の学群の授業の履修が可能な学べることの幅が広い大学ですが、3年に進級し、1・2年次よりも履修選択の自由の幅が広がったと感じています。

今年にはCOVID-19の流行によって、これまでとは違うオンラインという授業形態も始まりましたが、端末の貸し出しや学生に送られる学類からのお知らせメールなど、学生に寄り添ってくれていると感じることも多いです。知識情報・図書館学類に入学してよかったと思える環境です。皆さんにとってもそんな環境であれたらうれしく思います。



橘 風吉 TACHIBANA Fukichi

知識情報・図書館学類4年

私は、高校生の頃、国立国会図書館もしくは大学図書館で将来働きたいと考えていました。そこで、図書館情報学を専門課程で学べる知識情報・図書館学類に進学しました。4年間の学修を通じて、知識情報・図書館学類は、自分で行動して努力する人をサポートする学習環境が整っていると思いました。この学類では、社会における知識共有のあり方を多面的に理解できるように、哲学、数学、統計、量的・質的調査法、プログラミング、インターンシップなど幅広い授業が開講されています。3年次に学類開講の授業科目「国際インターンシップ」を履修して、ドイツのシュトゥットガルトに約1か月間滞在しました。ドイツでは、大学図書館や公共図書館を見学し、現地のワークショップに参加して世界各国の図書館員と交流しました。しかし、英語力不足で満足にコミュニケーションが取れない場面も多く、悔しく思いました。帰国後、この悔しさをバネに附属図書館の英語多読図書を使った英語多読に取り組み、TOEIC点数を130点高

めることができました。

部活動は、体育会剣道部に入部し稽古に励みました。部員の大半は体育専門学群生で、部員の剣道に対する考え方や姿勢は見習うべきことが多く、大きな刺激を受けました。

卒業後は、当初の希望通り、大学図書館職員として働きます。知識情報・図書館学類は多様な分野を学習できるので、授業科目の選択に迷うこともあります。しかし、自分で行動し、すべての経験を糧にしようとすることで、日々成長し、自己を確立することができると思います。知識情報・図書館学類には、そのために必要な豊かな学習環境が整備されています。



学生生活 Q&A

Q 入学金と授業料は？

A 2021年度の場合、入学金は282,000円、授業料は年間535,800円です。なお、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。

Q 授業料免除の制度はありますか？

A 2020年度は全額免除・2/3免除・半額免除がありました。2020年度知識情報・図書館学類の場合、免除者は71名でした。2020年度から、国の施策「高等教育の修学支援新制度」により日本学生支援機構の給付型奨学金を受けている人が授業料免除を受けられるように制度が変わりました。給付型奨学金を受けていない人は筑波大学独自の授業料免除を申し込むことができます。上記は合計の人数です。

Q どんな奨学金がありますか？

A 日本学生支援機構による奨学金制度には、給付型と貸与型無利息の第一種奨学金と利息つきの第二種奨学金があります。

2020年度入学者の場合（月額）

● 給付奨学金（世帯の所得金額により決定）

[自宅通学者] 29,200円、19,500円、9,800円
[自宅外通学者] 66,700円、44,500円、22,300円

● 第一種奨学金（希望額を選択）

[自宅通学者] 20,000円、30,000円、45,000円
[自宅外通学者] 20,000円、30,000円、40,000円、51,000円

● 第二種奨学金（希望額を選択）

20,000円～120,000円までの1万円単位の金額
その他、筑波大学学生奨学金「つくばスカラシップ」、地方自治体や財団法人による各種奨学金制度もあります。

Q 奨学金を受けている人はどのくらい？

A 2020年度知識情報・図書館学類1年生の場合、日本学生支援機構の給付型奨学生13名、第一種奨学生は9名、第二種奨学生は9名でした。

Q 学生宿舎はありますか？

A 春日エリアに春日学生宿舎があり、春日エリアの新入生は優先的に入居できます。全室個室、ベッド・机・椅子つきで、LANの設備もあります。宿舎費は、月額19,615円です。この他に、個室電気料（従量分）、コインランドリー代1回100円、シャワー代1回100円がかかります。また、徒歩15分～20分のところに、追越学生宿舎、平砂学生宿舎、Global Villageがあります。

Q アパートは紹介してもらえますか？

A キャンパスの近くには多くの学生向けのアパートがあり、台所と6畳の1Kで3～5万円程度で、徒歩や自転車で通える範囲から探すことも可能です。学生生活課の窓口には、一部近隣物件の資料があり閲覧可能ですが、大学から直接、物件の紹介やあっせんは行っておりませんので、各自不動産業者に照会してください。

Q 授業のある日は？

A 春学期（4月1日～9月30日）、秋学期（10月1日～3月31日）、それぞれに3つのモジュール（A, B, C）があり、この期間の月曜日から金曜日に授業があります。週2時限で10週間の授業に試験またはレポートが基本ですが、5週授業（週4時限）、15週授業（週1時限）、30週授業（週1時限）の科目もあります。土曜や休暇中の集中授業もあります。夏休みは8月中旬から9月末まで、冬休みは12月下旬から1月上旬、春休みは2月中旬から4月上旬までです。

Q 大学構内の移動は？

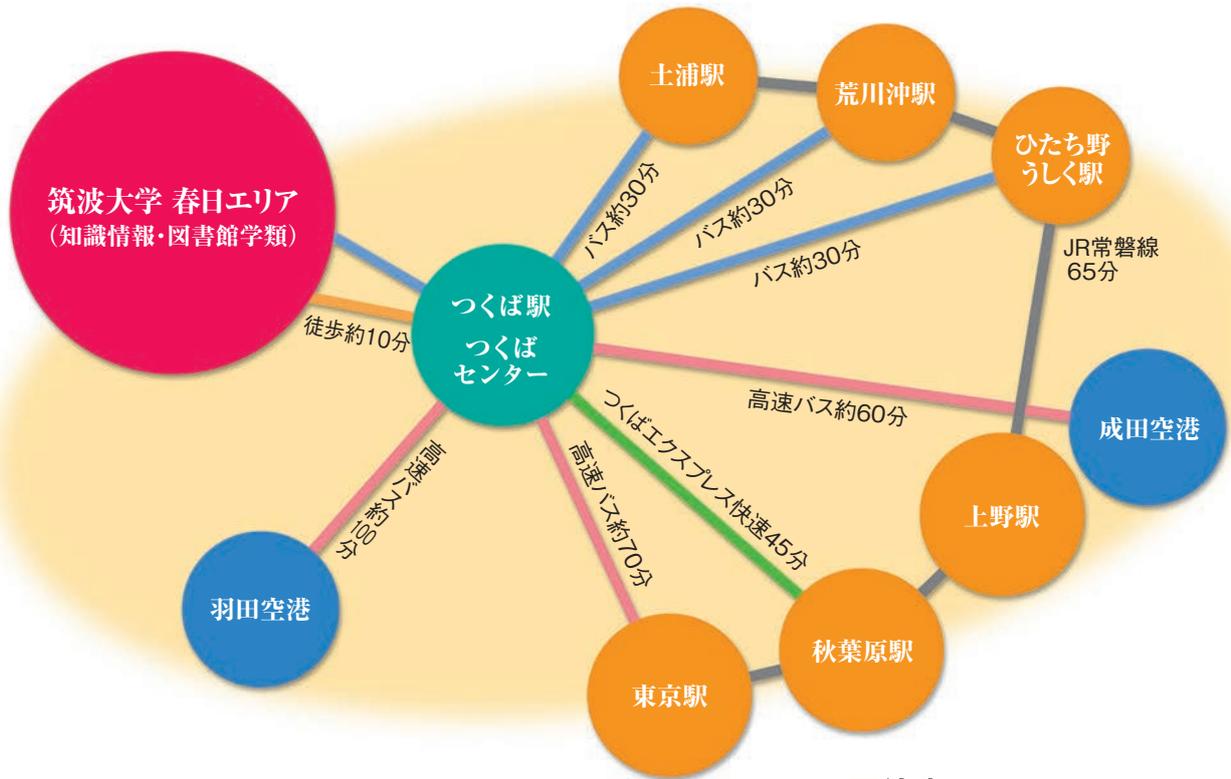
A 路線バスを使って他エリアに移動できます（平日8:00～21:00は20分間隔）。学生は年間9,500円の定期券で、つくばセンターから大学構内までの路線バスをいつでも自由に乗り降りできます。また、自転車で移動する学生も大勢います。

Q パソコンは必要ですか？

A 春日エリアには、WindowsとLinuxの両方が使えるパソコン約230台が設置されており、自由に使うことができます。ただ、多くの学類生は自分自身のパソコンをもっているようです。すべての教室で無線LANが使える、春日学生宿舎のすべての個室にも無線LAN（有線使用も可）があります。

Q 休日に図書館や実習室が使えますか？

A 図書館情報学図書館が8:30から22:00（土日祝10:00から18:00）、春日エリアの実習室が8:00から22:00で、休業期間中は短縮されます。春日エリア外の図書館や実習室も利用できます。ただし、授業のため利用できない場合があります。なお、コンピュータシステムは基本的に年中無休でいつでも利用できます。



■ 徒歩

「つくば駅」(A2出口)または「つくばセンター」から徒歩約10分です。

■ 鉄道

秋葉原駅からつくばエクスプレス 快速に乗ると45分で「つくば駅」に到着します。

JR常磐線 ひたち野うしく駅、荒川沖駅、または土浦駅で下車し、「つくばセンター」行きもしくは「筑波大学中央」行きのバスに乗ると、約30分で「つくばセンター」に到着します。

■ 高速バス

東京駅八重洲南口高速バスターミナル発「つくばセンター・筑波大学」行きに乗ると、約70分で「つくばセンター」に到着します。

■ 車

常磐道「桜土浦IC」で降り、東大通りを約5.2km北上し、左折して北大通りに入り、2つ目の信号を左折すると「筑波大学春日エリア」に到着します。

■ 飛行機

「つくばセンター」まで、羽田空港からは高速バスで約100分、成田空港からは高速バスで約60分です。



お問い合わせ

〒305-8550 つくば市春日1-2
筑波大学 図書館情報エリア支援室
 TEL:029-859-1110 FAX:029-859-1162

<https://klis.tsukuba.ac.jp/>
 E-mail klis-info@inf.tsukuba.ac.jp

2021年3月発行

